産業ミライフェス in UEDA 2026
～つながる未来、ひろがる可能性～

産業ミライフェスinUEDA2026

しあわせ信州
山々と育む すこやかな国

アリオ上田×サントミューゼ　同時出展

上田地域の伝統的工芸品 展示・体験会



11/27（金）・28（土）

会場：アリオ上田　［2階上田市インフォメーションコーナー］
　　サントミューゼ　［市民アトリエ・ギャラリー］

（産業ミライフェスinUEDA2026へ出展）

体験参加 無料

アンケート回答で 記念品プレゼント

伝統の技に出逢える二日間

日時

アリオ上田	11/27・28	10:00～16:30
サントミューゼ	11/27	10:00～16:30
	11/28	9:30～16:00

出展内容

上田地域の伝統的工芸品の展示・紹介
会場ごとに体験ワークショップを開催

体験ワークショップについて



・参加申込は当日、各会場で受け付けます。
・お子様には、必ず保護者の方がお付き添いください。
（農民美術の体験ワークショップは小学校３年生以上を対象とさせていただきます）
・参加は無料となりますので、お気軽にお立ち寄りください。

アリオ上田	◆上田紬の座繰り・真綿太糸作りの体験（約5～15分） ①10:00～12:00 ②13:00～16:00 で順番にご案内
	◆農民美術のマグネット等小物の製作体験（約30～50分） ①10:20～ ②11:30～ ③13:20～ ④14:30～ ⑤15:40～
サントミューゼ	◆手作り打上花火レプリカの製作体験（約30～60分） ①10:00～ ②11:30～ ③13:30～ ④14:50～

※内容は予告なく変更となる場合があります。

出　展　　：上田紬織物協同組合（体験協力：信州上田繭クラブ「繭友」）/長野県農民美術連合会/長野県花火組合
お問合せ先：長野県上田地域振興局商工観光課　上田市材木町1-2-6　TEL0268-25-7141

【上田地域の伝統的工芸品紹介】

◆上田紬（信州紬）

経済産業大臣指定の伝統的工芸品「信州紬」のうち、上田地域で作られている絹織物を「上田紬」と呼びます。当地域は、古くから蚕都と呼ばれるほど養蚕が盛んな地域であったこともあり、この上田紬は地域で大変親しまれてきました。縞・格子柄といった万人に好まれるデザインであったことや、裏地を３回取り換えるほど着込んでも破れず着続けられることから、三裏縞とも呼ばれ、戦に強かった真田幸村公のように「強い（丈夫）」とも語られてきました。

上田紬の特徴として、製造工程において染色から織りまでの一連の工程を自社工房の職人が行うというものがあります。これによって、時代やお客さんに合わせて色やデザインを自由に作り出すことができ、工房ごとに唯一無二の製品を見ることができます。

◆長野県農民美術

「長野県農民美術」は、上田地域を中心に発展し、大正８年に画家の山本鼎氏により提唱された農民美術運動から始まった長野県知事指定の伝統的工芸品であり、100年以上の歴史を持っています。元々は農閑期の副業として、農村の生活向上と美術の普及を目的としており、人々の暮らしや文化、身近な自然をテーマとした、素朴で力強い木彫りの工芸品が特徴的です。美術運動に端を発したように、農民美術の世界では、製品そのものよりも、むしろ製品を作る過程が大切にされています。

それを象徴するように、山本鼎氏のこのような言葉が今も受け継がれています。「自分が直接感じたものが尊い　そこから種々の仕事が　生まれてくるものでなければならない」　現在も、山本鼎氏が残した信念を受け継いだ職人の手によって、素晴らしい工芸品が作り出されています。

◆長野県手作り打上花火

みなさんも花火大会に行かれることはあると思いますが、打ち上げられる花火が、「実は手作りだった」と、考えたことはありますでしょうか。伝統的な手仕事によって作られた打上花火は「長野県手作り打上花火」として、長野県知事指定の伝統的工芸品に指定されています。

古くは、約300年前の江戸時代に飯田市で奉納花火が行われたことで、県内の神社の祭事に合わせ奉納花火が行われるようになりました。また、昭和３年頃に長野市の青木儀作氏により、煙火玉に芯入を二重にした八重芯菊花火が国内で初めて開発・完成されたことで、長野県独自の煙火として、全国的に有名になりました。現在でも、県内各地で多くの花火大会が催され、伝統的な技術により作られた打上花火が夜空を彩っています。

【会場案内】

アリオ上田



サントミューゼ

